

えがおがいちばん!!

お子さん・お孫さんの
写真を広報紙に掲載
しませんか？

広報「さんようおのだ」では、毎月15日号に掲載する市内在住の小学校就学前までのお子さんの写真を募集しています！



★申込方法★

掲載を希望されるお子さんの写真(プリントしたものまたはデジタルデータ)と、お子さんの名前(ふりがな)、生年月日、年齢、親の名前、郵便番号、住所、電話番号、15文字程度のコメントを記入した申込用紙を添えて提出してください。郵送、E-mailでも受け付けます。
※申込用紙は、市ホームページからもダウンロードできます。

★問い合わせ・申込先★

〒756-8601
山陽小野田市役所 総務課広報係 ☎ 82-1148

ねたろう君の 食育くらぶ



食育にもつながる！“緑のカーテン”

「緑のカーテン」といえば、夏の日差しを和らげることでエアコンなどの電気代が節約できるなど「環境面」ではよく知られていますが、「食育」にも関連していることを知っていますか？

Y 食育面での効果 Y

- 食べ物の育つ過程を知ること、食への関心を高める。
- 育てて収穫し、食べるというサイクルの中で、食べ物の「命」を感じ、食への感謝の気持ちが生まれる。
- 自分が育てたものに愛着をもち、残さず食べようという意識を高める。
- 野菜をしっかりと食べるきっかけとなり、健康づくりにつながる。



7月24日(水)に、花の海(埴生干拓)で、埴生地区の幼稚園・保育園児が4月に植えたゴーヤなどの夏野菜を収穫し、その野菜を使った料理の試食などを行います。

夏野菜は手軽に育てられるものが多く、夏の太陽を浴びて栄養満点です。ご家庭でも野菜づくりにチャレンジしてみませんか。



4月の「ゴーヤの苗植え」のようす▶

【問い合わせ先】健康増進課 ☎ 71-1817

女と男の行詩

高齢化が進み、要支援・要介護認定者数は毎年増加しています。介護者の6割以上が同居している家族で配偶者が最も多く、次に子、そして子の配偶者となっています。家族介護の約7割が女性によって担われていますが、家族形態の変化などから、男性介護者の割合も増加傾向にあります。

また、老老介護も増加しており、一行詩でも介護や老後をテーマとしたものが多く見られます。豊かで活力にあふれ、年齢にとらわれず誰もが自分らしく生きがいを持つて輝ける高齢社会を実現するためには、一人ひとりが自分にできることは何か、どのように介護と関わっていったいのかなど高齢者に対する理解を深め、十分な配慮をすることが期待されます。

- 助けたり 助けられたり 妻と夫 日ごと補い 老いても元氣
- 八十路越え 老老介護 夫婦連れ
- 分かち合い いたわりあって 共白髪
- 支え合う 男と女とで 人になる
- 親の介護 嫁のわたしと 息子のあなた 心の負担を半ぶんこ